

# 世界的一流企業グループの構築



(植林後 1年 9ヶ月を経て 4m超まで成長した 精英樹知-ン植林木)

**2002年 11月 28日**

株式会社日本ユニパックホールディング  
代表取締役社長 三好 孝彦

# 本日のプレゼンテーションの内容



1. 中期ビジョン策定にあたって

2. 中期ビジョン (H15-17経営目標)

3. グループ経営指標

## 中長期目標 「世界的一流企業の構築」

### 当社の目指す「4つの企業像」

- 安定して良い業績を上げる会社
- お客様に信頼される会社
- 従業員が夢と希望を持てる会社
- 品格のある会社

株主

顧客

従業員

社会 環境

## 中期ビジョン策定の目的

平成15年4月1日 事業再編の実施

● 新体制での経営指針明示

● グループ戦略の明確化



「峻別と集中」を徹底

● 個別事業における収益目標の提示



個別事業計画の策定・実行



## 中期ビジョンの位置付け

H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度		
-------	-------	-------	-------	-------	-------	--	--

### メインテーマ

- 統合効果の達成  
(560億円/2年)
- 生産体制再構築
- 秩序ある競争回復

### メインテーマ

- 安定収益の実現
- 財務体質の強化

### メインテーマ

新たなる  
成長戦略の推進

世界的一流企業構築の土台構築期

飛翔期

## 中期ビジョン (H15～H17年度) 経営指針

● より速く

経営資源の効率化追求

生産体制再構築(第2弾)/事業再編早期実現

● より高く : 安定収益の実現

● より強く : 財務体質の強化

## H17年度目標

連結経常利益 1000億円以上

連結有利子負債 7000億円以下

H17年度 連結経常利益 1000億円以上

## ● 紙・板紙の生産体制再構築

・余剰設備 45万t/年の削減

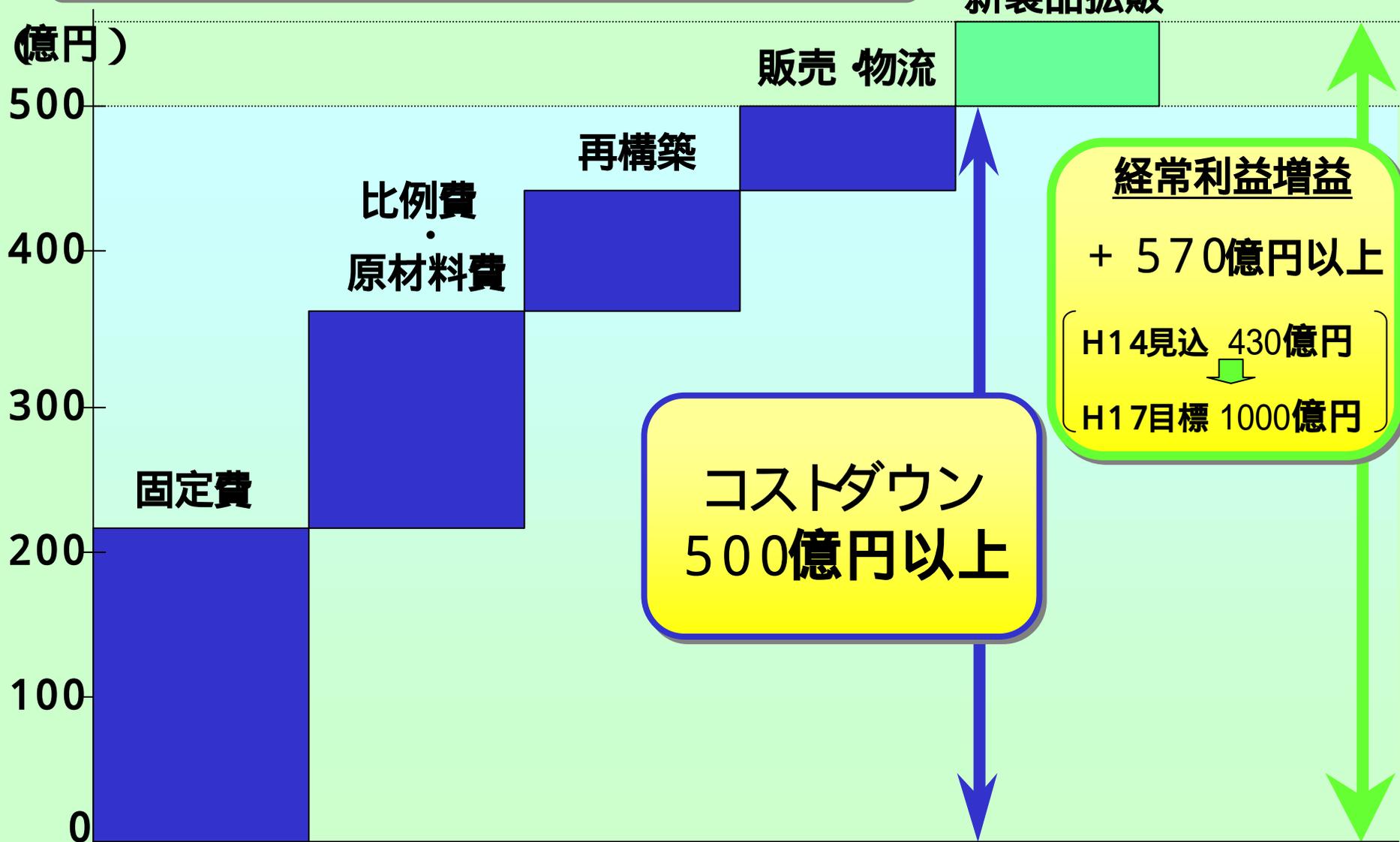
- 亀有工場 19万t/小松島工場 6万 t

- 新規追加 20万t程度

## ● 生産性 10%以上アップ

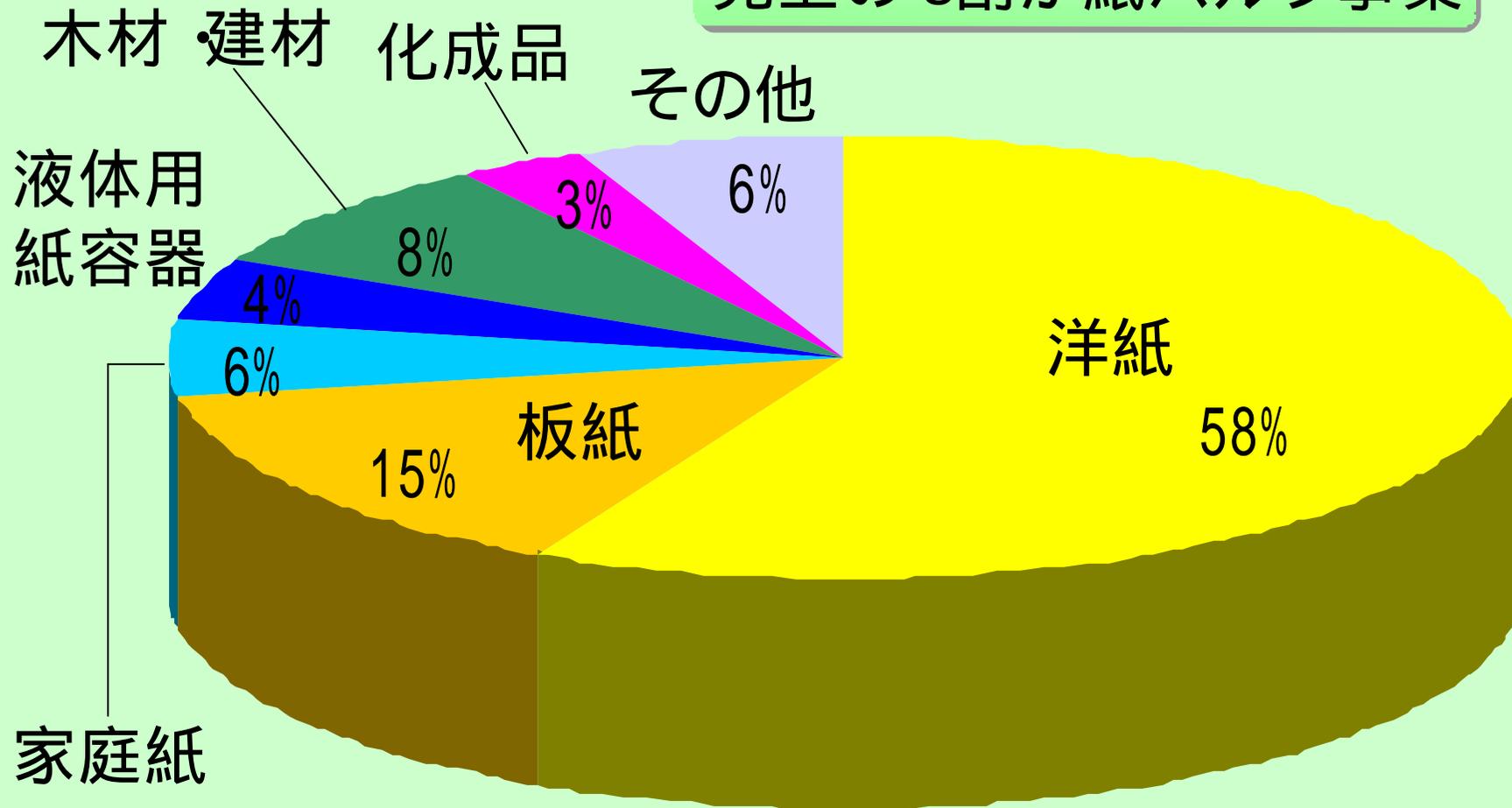


# 経常利益増益試算値(H14 H17)



# グループの事業別売上規模 H14年度見込

売上の8割が紙パルプ事業

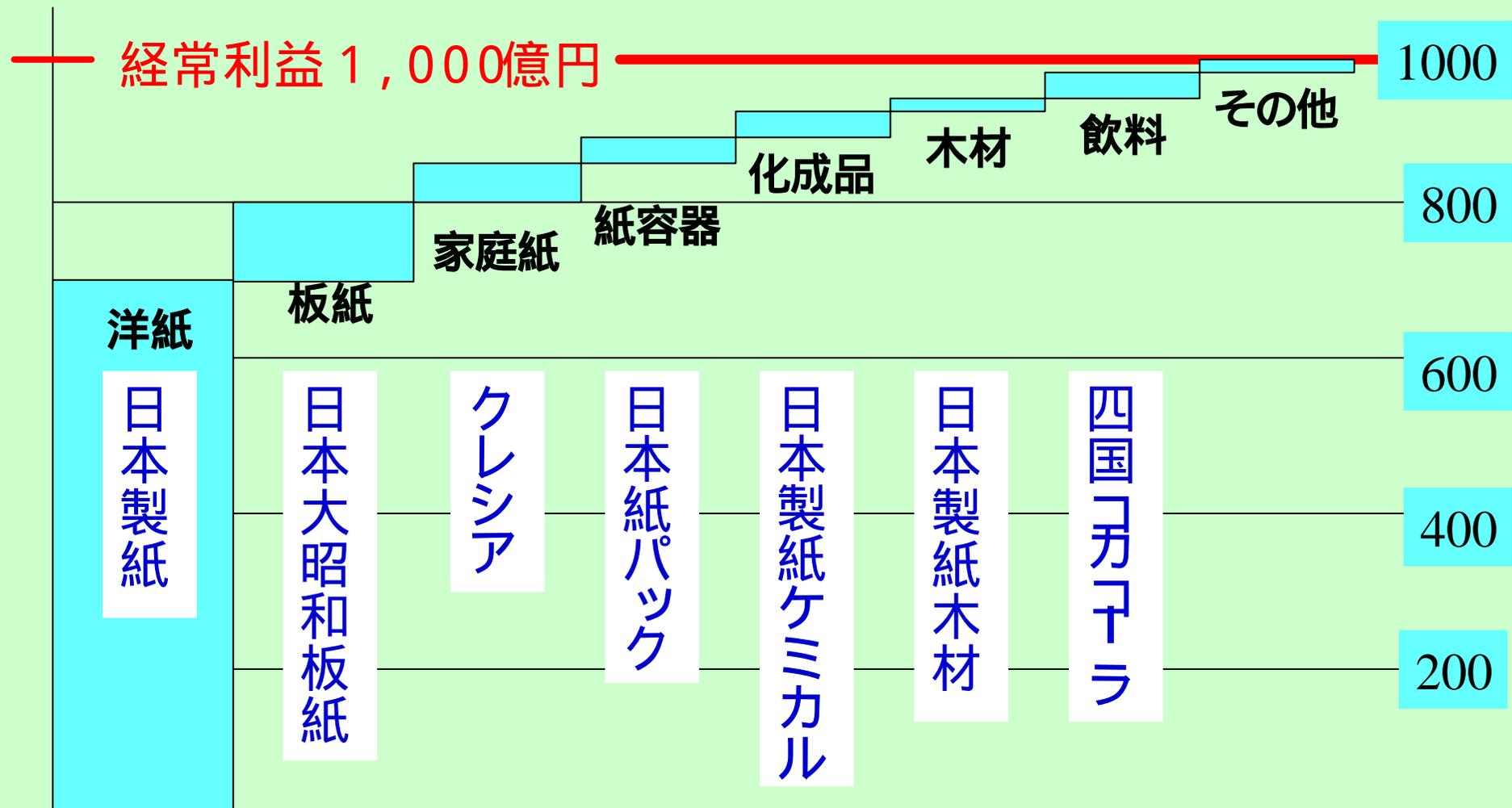


決算のセグメント別数値とは分類方法が異なる。



# H17年度事業別経常利益発現イメージ

■ H17経常利益目標額(億円)





連結有利子負債残高 7000億円以下

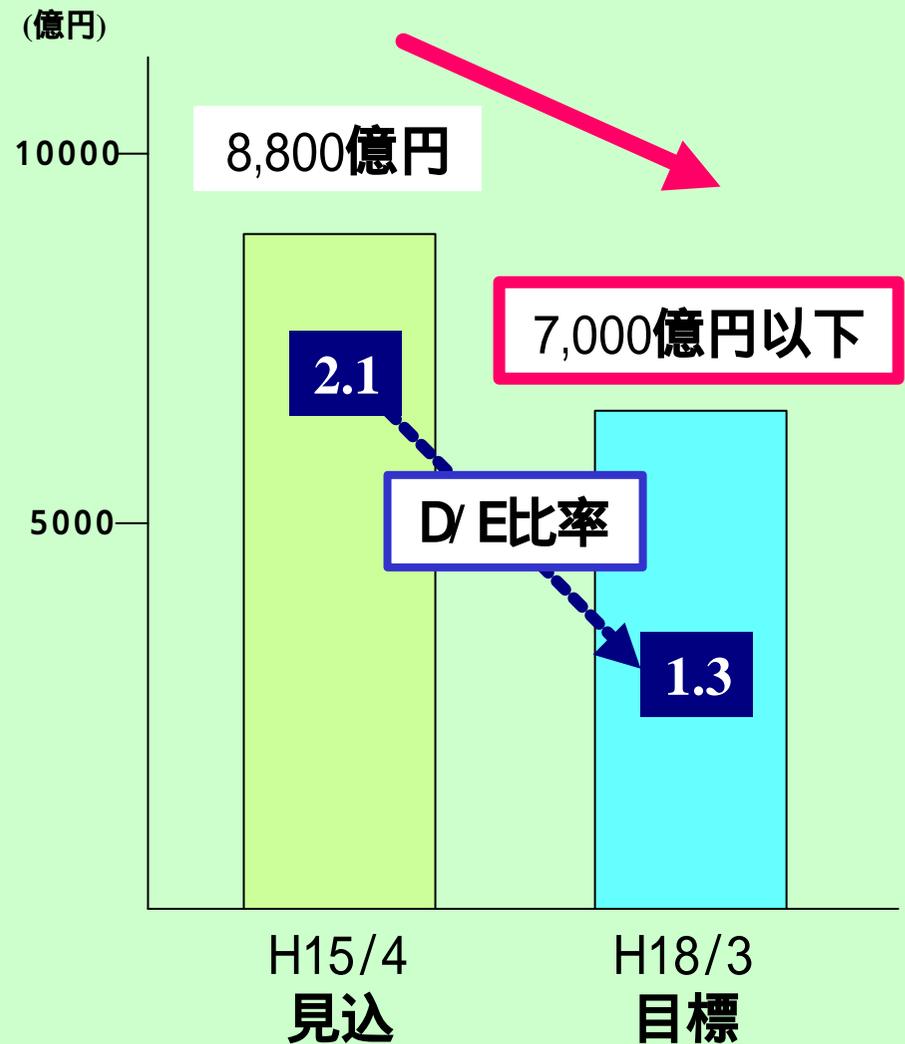
資金収支イメージ  
(H15年度～H17年度)

資金収入

● 税引後利益	1,700億円
● 減価償却費	2,300億円
資金収入計	4,000億円

資金支出

● 有利子負債削減	1,800億円
● 設備投資額	1,900億円
● 配当金等	300億円
資金支出計	4,000億円



### 3.グループ経営指標



## 経営指標

H14年度  
見込み

H17年度  
目標

● 経常利益 (売上高経常利益率)	430億円 (3.7%)	1,000億円以上 (8%以上)
● ROE	3.4%	11%以上
● ROIC	3.3%	9%以上
● ROA	3.4%	7%以上
● 有利子負債残高 <sup>*</sup>	8,800億円	7,000億円以下
● D/E比率	2.1	1.3以下
● 従業員削減		10%以上

\*H15/4見込み

---

## 見通しに関する注意事項

---

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

**(株)日本ユニパックホールディング**